

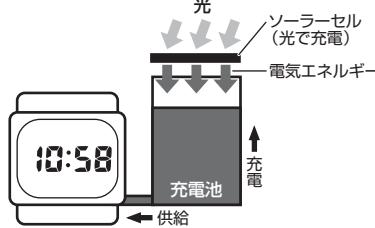
十分に光を当ててご使用ください

本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。

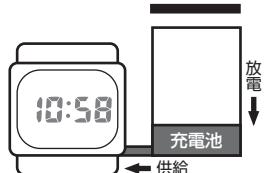
安定してお使いいただくためには、本機のソーラーセルに光が当たるようにしてお使いください。

●光が当たっているときと当たらないとき

〈光が当たっているとき〉



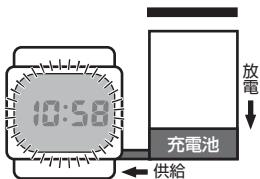
〈光が当たっていないとき〉



時計は光が当たらないときでも常に動いていますので、このままでは充電池の容量が減って機能が使えなくなります。

●ライト（表示用照明）をたくさん使うと

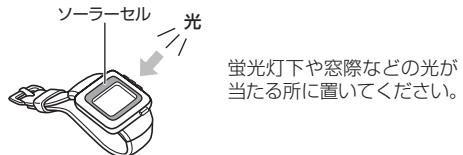
ライトを多用すると充電池の容量は早く減ります。



●時計に光が当たるようにしましょう

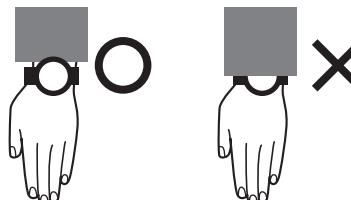
・充電池の容量が減ってくると機能に制限がかかります。機能を正しくお使いいただくために、光を当てて充電を心掛けてください。

・腕から外したときは表示面（ソーラーセル）を明るい方に向けて置くなどして、充電を心掛けてください。



蛍光灯下や窓際などの光が当たる所に置いてください。

・腕に付いているときはなるべく袖が表示面（ソーラーセル）にかかるないように使用してください。



一部でも袖に隠れると、充電効率が著しく低下します。

液晶表示について

機種によって液晶表示のタイプが異なりますが、モジュール3019< Aタイプ>の液晶表示で説明しております。Bタイプ（反転液晶）をお使いの方は、Aタイプで黒点灯するところが白くなると置き換えてご覧ください。

※モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています。

モジュール3019	モジュール3039
 Aタイプ ON	 Aタイプ ON
 Bタイプ ON	 Bタイプ ON

操作のしくみと表示の見方

◎ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。

※表示例はモジュール3019を使用しています。(モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています。)

時刻モード

◎モジュール3019

◎モジュール3039

★表示切替について
◎ボタンを押すごとに、「基本時刻表示」と「デュアルタイム表示」とが切り替わります。

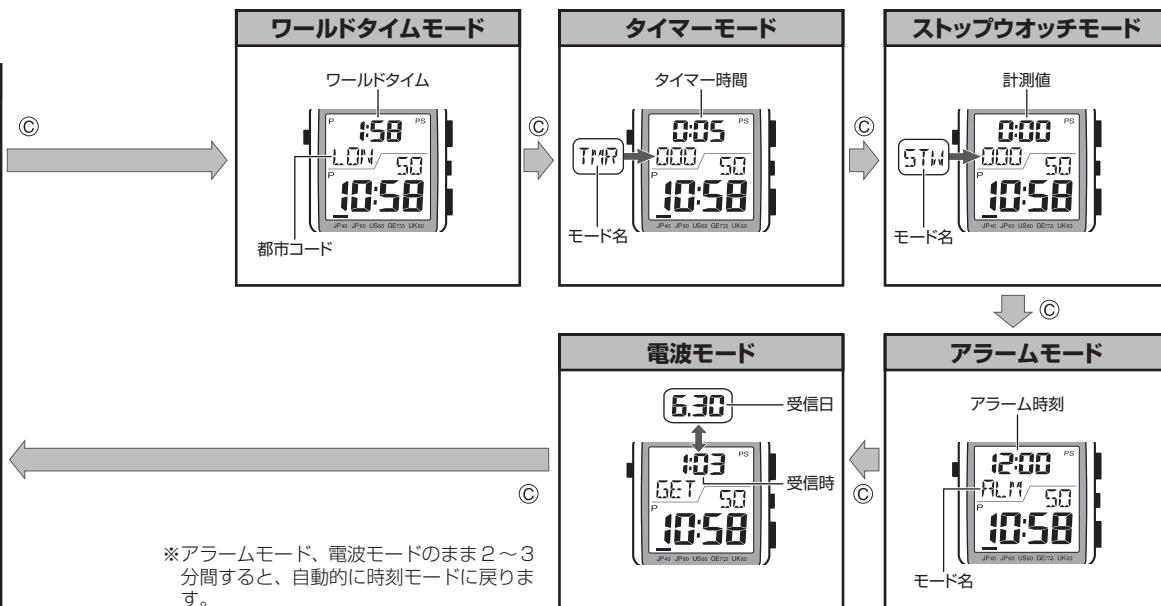
★デュアルタイムについて
デュアルタイムとは、現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。
※基本時刻とデュアルタイムを入れ替えることができます（「基本時刻とデュアルタイムの入れ替え」参照）。

SUN : 日 MON : 月 TUE : 火
WED : 水 THU : 木 FRI : 金
SAT : 土

* 受信局マークについては、「受信局マーク」を参照。

◎受信局マーク

◎受信局マーク



電源について

本機はソーラーセルで発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。

光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機が隠れたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して表示しなくなることがあります。

安定してご使用いただくために、なるべく光が当たるようにしてお使いください。

二次電池が消耗して時計機能が停止すると、メモリーされているデータや設定は消去されます。

●リカバーマークが点滅している場合

ライトやアラームなどを短時間に連続して使用し、電池に大きな負担がかかった場合、リカバーマークが点滅して、一時的に以下の操作ができなくなります。

- ELバックライトの点灯
- アラーム・時報などの報音
- タイマーのタイムアップ報音
- 電波受信

この場合は、時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。



●充電必要サイン

二次電池が消耗してくると、一部の機能に制限がかかり、時刻モードのときに（デュアルタイム表示のときは基本時刻表示になります）"LOW" が点滅します。さらに電池の消耗が進むと、制限される機能が増え、"CHG" が点滅します。このときは、本機を光に当てて、十分に充電を行なってください。また、頻繁にリカバーマークが点滅する場合も電池容量が少なくなっていますので光を当てて充電してください。

表示の状態	制限される主な機能
<時刻モードのとき> 	EL点灯不可、 アラーム・時報などの報音不可、 タイマーのタイムアップ報音不可、 電波受信不可
	液晶表示不可、EL点灯不可、 アラーム・時報などの報音不可、 タイマーのタイムアップ報音不可、 電波受信不可

※二次電池が完全に消耗すると、すべての表示が消灯し、時計機能も停止しますが、再度充電を行なうことで使用できるようになります。

※二次電池が完全に消耗した状態から充電したときは、充電中に "CHG" の点滅とともに表示が点灯しますが、この状態では機能が使用できません。"CHG" の点滅が消えるまで、十分に光を当ててからご使用ください。

●充電時のご注意

以下のようないくつかの条件での充電はお避けください。

- 炎天下に駐車中の車のダッシュボード
 - 白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
 - 直射日光が長く当たって、高温になる所
- なお、極端な高温下では液晶パネルが黒くなることがあります、温度が下がれば正常に戻ります。



充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどの危険性があります。ご注意ください。

●各段階に回復するための充電時間

環境（照度）	充電時間	
	充電サイン消灯	フル充電
晴れた日の屋外など (50,000ルクス)	約2時間	約39時間
晴れた日の窓際など (10,000ルクス)	約5時間	約146時間
曇り日の窓際など (5,000ルクス)	約8時間	約236時間
蛍光灯下の室内など (500ルクス)	約86時間	---

※この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

パワーセービング機能について

パワーセービング機能とは、暗いところに放置すると自動的に液晶表示を消してスリープ状態にし、節電する機能です。本機は工場出荷時に「パワーセービング機能」をONに設定しております。

※時計が袖などで隠れている場合でも、表示が消えることがあります。

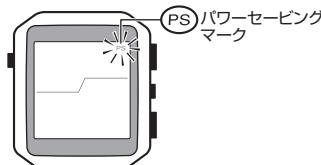
●スリープ状態になるには

- 表示スリープ

午後 10 時～午前 6 時の間、暗いところで本機を約 1 時間放置します。

⇒ 液晶表示が消え、パワーセービングマークが点滅します。
アラーム・時報の報音は行ないません。

※ タイマーモード、ストップウォッチモードのときは、スリープ状態になりません。



- 機能スリープ

表示スリープのまま暗いところで6~7日間経過します。

⇒パワーセービングマークが点滅から点灯にかわります。
アラーム・時報の報音は行ないません。

電波の自動受信は行ないません。

※ 時計機能は正常に作動しています。

●スリープ状態を解除するには

本機を明るいところに置くか、いずれかのボタンを押します。

※本機を明るいところに出した場合は、表示が点灯するまで最大 2 秒かかる場合があります。

●パワーセービング機能のON/OFF

パワーセービング機能を働かせなくするには「セットのしかた」をご覧になり、パワーセービング機能をOFFにしてください。

机の中などに長期間しまっておくときは、パワーセービング機能をONにしておけば、節電効果があります。

ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、⑧ボタンを押すとライトが点灯し、暗いところでも時刻を見るることができます。



※直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。

※ライト点灯中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。

※手動受信中はライトは点灯しません。

※ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがあります、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

操作音について

モード切替時などに鳴る操作音のON/OFFを切り替えることができます。

■ 操作音のON/OFF設定

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも

⑧ボタンを約3秒間押します

⇒確認音が鳴り、操作音のON/OFFが切り替わります。

※操作音をOFFにしているときは、MUTEマークが点灯します。

※⑧ボタンを押したときに、モードも切り替わりますので、ご注意ください。

※操作音がOFFでも、アラーム音、時報音、タイマーのタイムアップ音は鳴ります。



電波時計について

電波時計とは

正確な時刻情報をのせた長波標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。



電波時計は正確な標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に1秒未満のズレが生じます。

標準電波

- 日本の標準電波(JJJY)は独立行政法人情報通信研究機構(NICT)が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所(40kHz)」および佐賀県と福岡県の境にある「はがね山標準電波送信所(60kHz)」から送信されています。
- アメリカの標準電波(WWVB)はNational Institute of Standards and Technology(NIST)が運用しており、コロラド州にあるフォートコリーンズ送信所から送信されています。
- イギリスの標準電波(MSF)はNational Physical Laboratory(NPL)が運用しており、ロンドン北西に位置するラグビー送信所から送信されています。
- ドイツの標準電波(DCF77)はPhysikalisch-Technische Bundesanstalt(PTB)が運用しており、フランクフルト南東に位置するマインフリンゲン送信所から送信されています。

日本の正確な時刻情報をのせた標準電波は独立行政法人情報通信研究機構(NICT)日本標準時グループが運用しております。
この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信が中断されることがあります。
詳しい情報は独立行政法人情報通信研究機構(NICT)日本標準時グループのホームページをご覧ください。

<http://jjy.nict.go.jp>

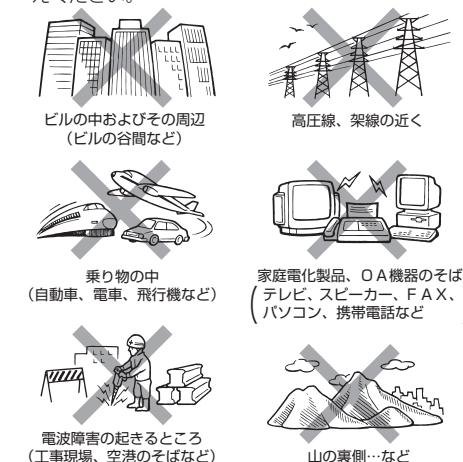
※ホームページのアドレスは変更になる場合があります。

- 受信環境により、図の範囲内でも電波を受信できない場合があります。内側の円の範囲を越えると電波が弱くなりますので、受信環境の影響はより大きくなります。
- ※受信に影響を与える環境・・・地形、建物、天気、季節、時間帯(昼、夜)、各種ノイズ

使用場所について

電波は、以下のような場所では受信しにくくなりますので、このような場所を避けて受信を行なってください。

※電波受信については、ラジオやテレビと同じようにお考えください。



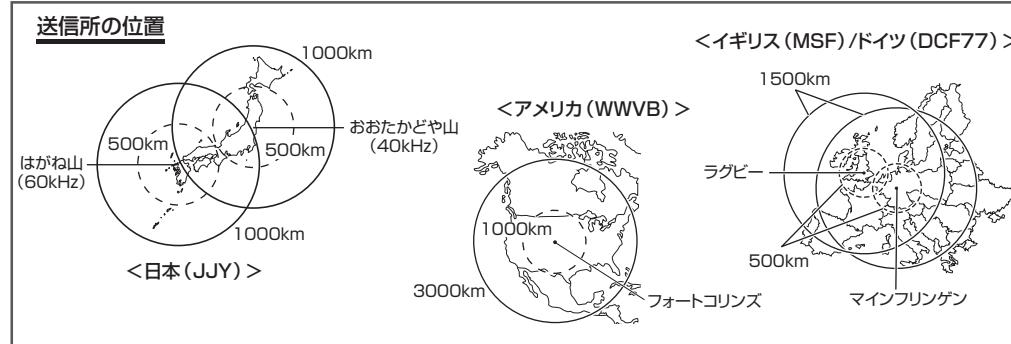
受信がうまくいかないときは、上記のような場所から離れ、受信状況の良いところで再度受信してみてください。

電波の受信範囲の目安

本機は、ホームタイム都市を下記のように設定すると、その都市に対応した標準電波を受信します。
* ホームタイム都市の設定については「セットのしかた」参照。都市コードについては「都市コード一覧」参照。

ホームタイム都市(受信機能対応都市)	受信電波
TYO, SEL, TPE, BJS, HKG	日本の標準電波(JJJY)
HNL, ANC, YVR, LAX, YEA, DEN, MEX, YWG, CHI, MIA, YTO, NYC, YHZ, YYT	アメリカの標準電波(WWVB)
LIS, LON, MAD, PAR, ROM, BER, STO, ATH, MOW	イギリスの標準電波(MSF)、ドイツの標準電波(DCF77)

※BJS, HKG, HNL, ANC, MOW の各都市は、受信機能対応都市としています。条件が良ければ受信する場合もあります。



受信方法について

受信方法には、以下の2種類があります。

- 1 自動受信 1日最大6回(午前12・1・2・3・4・5時に自動受信します)
- 2 手動受信(ボタンを押して手動受信します)

※1日1回受信が成功すれば、その日の自動受信は行いません。

※工場出荷時には、自動受信を行なうようにセットされていますので、電波を受けるのに適した環境であれば、自動的に受信を行ない、正確な時刻を保ちます。

ただし、BJS, HKG, HNL, ANC, MOW の各都市は自動受信の設定がOFFにセットされています。

*自動受信の設定は「自動受信ON/OFFの設定」参照。

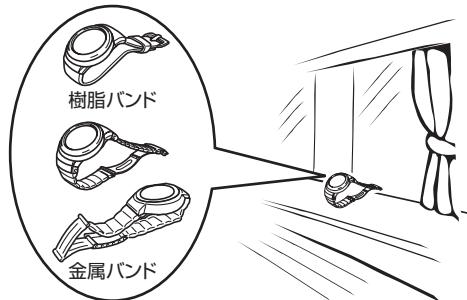
※自動受信は、基本時刻(「操作のしくみと表示の見方」参照)が上記の時刻になると受信を行ないます。

※設定したホームタイム都市やサマータイム設定によって、自動受信の開始時刻が異なります。

ホームタイム都市	自動受信開始時刻					
	1	2	3	4	5	6
TYO, SEL, TPE, BJS, HKG	通常時刻	午前12時	午前1時	午前2時	午前3時	午前4時
HNL, ANC, YVR, LAX, YEA, DEN, MEX, YWG, CHI, MIA, YTO, NYC, YHZ, YYT	通常時刻 サマータイム	午前12時 午前1時	午前1時 午前2時	午前2時 午前3時	午前3時 午前4時	午前4時 午前5時
LIS, LON	通常時刻 サマータイム	午前1時 午前2時	午前2時 午前3時	午前3時 午前4時	午前4時 午前5時	午前5時 午前6時
MAD, PAR, ROM, BER, STO	通常時刻 サマータイム	午前2時 午前3時	午前3時 午前4時	午前4時 午前5時	午前5時 午前6時	午前6時 午前7時
ATH	通常時刻 サマータイム	午前3時 午前4時	午前4時 午前5時	午前5時 午前6時	午前6時 午前7時	午前7時 午前8時
MOW	通常時刻 サマータイム	午前4時 午前5時	午前5時 午前6時	午前6時 午前7時	午前7時 午前8時	午前8時 午前9時

●受信しやすくするために

本機を腕からはずし、金属をさけて下図のように時計上部（12時位置のアンテナ）を外に向けて窓際に置いてください。



●時計本体を横向きに置くと受信しにくくなります。

●受信中、時計を動かさないようにしてください。

●受信局マーク

受信中は受信している電波の受信局マークが点滅します。

※受信成功後は受信した電波の受信局マークが点灯します。受信局マークは、翌日の自動受信開始時刻の第1回目に（「受信方法について」参照）に消えます。



JP40 = おおたかどや山(日本)
JP60 = はがね山(日本)
US60 = フォートコリンズ(アメリカ)
GE77.5 = マインフレンゲン(ドイツ)
UK60 = ラグビー(イギリス)

●受信日時の確認

時刻モードのときに④ボタンを5回押して、電波モードにします。

→受信により最後に修正した月日と時分を表示します。

※受信日と受信時は2秒ごとに切り替わって表示されます。

※一度も受信に成功しなかったときは、"---" を表示します。

※時刻モードに戻すには、もう一度④ボタンを押します。

※何も操作をしないと、2~3分後時刻モードに戻ります。



●受信時間は？

受信時間はおよそ1~7分です。

※ただし、周波数を変えて再受信するため、最大13分かかる場合があります。

*自動受信ON/OFFの設定については「自動受信ON/OFFの設定」参照。

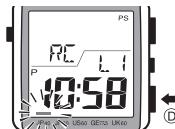
●手動受信

時刻モードのときに④ボタンを5回押して、電波モードにします。

④ボタンを約2秒間押し続けます

→"RC" が表示され、受信を開始します。

※受信中は、受信状態のレベル表示（「受信状態のレベル表示」参照）が変化し、受信している電波の受信局マーク（「受信局マーク」参照）が点滅します。



★受信を中止するときは

④ボタンを押します

※手動受信中は④ボタン以外の操作はできません。

★受信が成功すると

成功した時点で受信を終了し、時刻を修正後、修正日時を表示します。

※修正日時表示後は、④ボタンを押すか、2~3分間放置すると時刻モードの表示に戻ります。

★受信が失敗すると（ERR表示）

時刻修正は行なわれず、"ERR" を表示します。

※"ERR" 表示後は、④ボタンを押すか、2~3分間放置すると時刻モードの表示に戻ります。

●受信状態のレベル表示

受信中は受信状態によってレベル表示が変化します。安定状態がなるべく長く保てる場所で受信してください。



※受信しやすい場所でも、安定するまで約10秒ほどかかります。

●受信状態のレベル表示は、受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。

●天候、時間、環境等により電波状況は変化します。

■自動受信ON/OFFの設定

自動受信をOFFにすると、電波の自動受信をさせなくすることができます。

※ホームタイム都市を受信機能対応都市に設定していると、自動受信ON/OFFの設定を行なうことができます。

*受信機能対応都市については、「電波の受信範囲の目安」参照。

1. 電波モードにする

時刻モードのとき

④ボタンを5回押します

→受信日時を表示します。

※何も操作をしないと、2~3分後時刻モードに戻ります。



2. セット状態にする

Ⓐボタンを押します

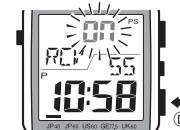
→ONまたはOFFが点滅します。



3. セットする

④ボタンを押します

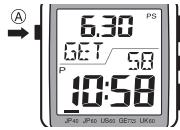
→ONとOFFが切り替わります。



4. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

→点滅が止まり、受信日時表示に戻ります。



※時刻モードに戻すには、④ボタンを押します。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

★自動受信をONにすると…

●ホームタイム都市がTYO、SEL、TPE、BJS、HKGの場合

自動受信はONになり、「おおたかどや山標準電波送信所(40kHz)」と「はがね山標準電波送信所(60kHz)」からの電波のうち、受信しやすい方を自動的に選びます（自動選局）。

※前回受信に成功した方の電波を優先的に受信します。

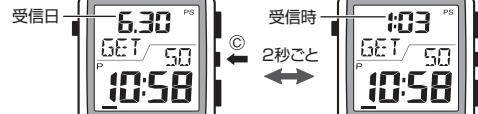
●ホームタイム都市がHNL、ANC、YVR、LAX、YEA、DEN、MEX、YWG、CHI、MIA、YTO、NYC、YHZ、YYTの場合

自動受信はONになり、アメリカのフォートコリンズ送信所からの電波を受信します。

●ホームタイム都市がLIS、LON、MAD、PAR、ROM、BER、STO、ATH、MOWの場合

自動受信はONになり、イギリスのラグビー送信所とドイツのマインフレンゲン送信所からの電波のうち、受信しやすい方を自動的に選びます（自動選局）。

※前回受信に成功した方の電波を優先的に受信します。



■受信に関するご注意

- 自動受信は時刻モードとワールドタイムモードでのみ行なわれます。
- 以下のときは、電波受信を行ないません。
 - ・タイマー計測中のとき。
 - ・バッテリーレベルが充電必要レベル("LOW"や"CHG"点滅)のとき。
 - ・リカバーマーク (RECOV) が点灯しているとき。
- 自動受信中にボタン操作を行なうと、受信を中断します。
- 受信は送信されている電波の届く範囲内で行なってください。
ただし、電波の届く範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯(昼・夜)などによってうまく受信できないことがあります。
- 電波障害により、誤った信号を受信することがあります。そのときは、再度受信を行なってください。
- 本機は日本、アメリカ、イギリス、ドイツで送信されている電波に合わせて設定されていますので、電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。
- 電波受信を行なわないときは、平均月差±20秒以内の精度範囲で動きます。
- 極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。
- 受信中にアラームが鳴ると、受信を中断します。
- 本機のカレンダー機能は2099年までですので、2100年以降は受信してもエラーとなります。

★電波受信ができないときや受信しても時刻が合わないときは、設定を確認してください。

※本機は工場出荷時および電池交換後には、以下の内容でセットされています。

自動受信		自動受信する
ホームタイム都市		東京
サマータイム		電波受信による自動切替

■こんなときには

1. 電波が受信できないのですが?

- 電波の送信が中断していませんか。
電波時計が利用している標準電波 (JJY) は、独立行政法人情報通信研究機構 (NICT) により運営されておりますが、保守作業や電波遮断等で一時的に送信が中断されることがあります。
- 電波が受信できない地域にいませんか。
電波受信ができる地域は、「電波の受信範囲の目安」をご覧ください。
- 電波受信環境が悪い場所にいませんか。
電波受信できる地域であっても電波が遮断されたり、発生するノイズにより受信しにくくなります。受信はこのような場所を避けて行なってください(「使用場所について」参照)。
- ホームタイム都市が間違って設定されていますか。
ホームタイム都市の設定が「電波の受信範囲の目安」に記載されている都市以外の場合は、電波受信を行ないません。「セットのしかた」をご覧になり、ホームタイム都市を正しく設定してください。
- 自動受信設定がOFFになっていますか。
「自動受信 ON / OFF の設定」をご覧になり、自動受信設定をONに設定してください。

- 自動受信を行なう時間帯(午前 12・1・2・3・4・5時)に、時刻モードまたはワールドタイムモード以外になつていませんでしたか。

自動受信は時刻モードまたはワールドタイムモードでしか行なわれませんので、自動受信時間帯は他のモードに切り替えないでください。

2. 電波を受信したのに、時報と時計の表示が若干ずれるのですが?

- 電波時計は標準電波を受信して時刻修正を行ないますが、時計内部の演算処理等により若干(1秒未満)のずれが発生します。

3. 電波を受信したのに、時刻がちょうど1時間進んでいるのですが?

- サマータイムの設定がONになっていませんか。「セットのしかた」をご覧になり、サマータイムの設定をOFFまたはAUTOにしてください。

4. 電波を受信したのに、時刻がくるっているのですが?

- ホームタイム都市の設定が東京 (TYO) ではなく、外国都市に設定されていますか。「セットのしかた」をご覧になり、ホームタイム都市を正しく設定してください。

5. 自動受信ON / OFFの設定ができないのですが?

- ホームタイム都市の設定が「電波の受信範囲の目安」に記載されている都市以外の場合は、自動受信ON / OFFの設定を行なうことができません。「セットのしかた」をご覧になり、ホームタイム都市を正しく設定してください。

6. 自動受信は何時頃行なわれるのですか?

- 自動受信は電波状況の良い夜間に行なわれます。夜間にお休みのときは、電波送信所方向の窓際に時計の12時位置(受信アンテナ部)を外に向けて置いてください。

7. 手動受信のしかたは?

- 電波モードのときに①ボタン(右下)を約2秒間押します。“RC”が表示され手動受信が開始されますので、電波送信所方向の窓際に時計の12時位置(受信アンテナ部)を外に向けて置いてください。

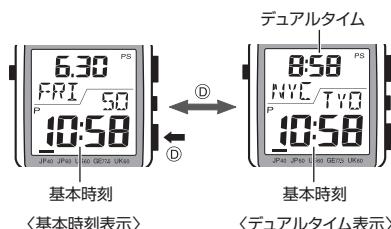
8. 受信日時の確認のしかたは?

- 電波モードで確認します。受信が成功して、時刻修正された月日と時分が2秒ごとに切り替わって表示されます。

デュアルタイムについて

デュアルタイムとは、現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。
基本時刻とデュアルタイムを入れ替えることもできます。

※時刻のセットのしかたは、「セットのしかた」参照。
※基本時刻とデュアルタイムを入れ替えると、都市・時刻が入れ替わります。設定されている都市によって、電波を受信する局も変わります(「電波の受信範囲の目安」参照)。



「操作のしくみと表示の見方」にしたがい①ボタンを押し、時刻モードにします。

■基本時刻とデュアルタイムの入れ替え

時刻モードのとき

①ボタンを約3秒間押します



→確認音が鳴り、基本時刻とデュアルタイムが入れ替わります。

※基本時刻とデュアルタイムを入れ替えた後は、デュアルタイム表示になります。①ボタンを押すと、基本時刻表示に戻ります。

ワールドタイムの使い方

ワールドタイムモードでは、世界48都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムは、基本時刻との時差にしたがい他の都市の時刻が自動的にセットされます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。

■ 注意

ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

* セットについては「セットのしかた」参照。

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい④ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

■ 都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

④ボタンを押します

→④ボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。
※④ボタンを押し続けると早送りします。



アラーム・時報の使い方

アラームモードでは、時分を設定でき、設定した時刻になると10秒間電子音が鳴ります。
また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

■ アラーム時刻のセット

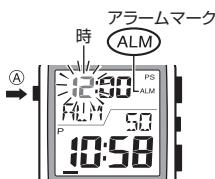
1. セット状態にする

アラームモードのとき

④ボタンを押します

→「時」が点滅します。

* アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。



2. セット箇所を選ぶ

④ボタンを押します

→④ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇒「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



「操作のしくみと表示の見方」にしたがい④ボタンを押し、アラームモードにします。

3. 点滅箇所をセットする

④または⑧ボタンを押します

→④ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、⑧ボタンを押すごとに戻ります。
※④・⑧ボタンとも、押し続けると早送りします。

2.~3.の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

4. セットを終わる

④ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST (Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■ サマータイムのON/OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、④ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

④ボタンを押します

→④ボタンを押すごとにサマータイムのON/OFFが切り替わります。

※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。

※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。

※ホームタイムで設定している都市をサマータイムONにしたときは、ホームタイム（基本時刻）もサマータイムONになります。

DSTマーク (DST)



■ アラーム・時報のON/OFF設定

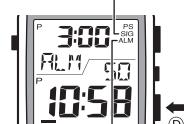
アラームモードのとき

④ボタンを押します

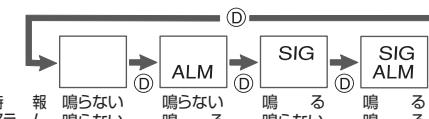
→④ボタンを押すごとにアラームマークと時報マークが点灯／消灯を繰り返します。

※それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。

時報マーク



アラームマーク



■ 都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	-11	パゴバゴ	STO	+1	ストックホルム
HNL	-10	ホノルル	ATH	+2	アテネ
ANC	-9	アンカレジ	CAI	+2	カイロ
YVR	-8	バンクーバー	JRS	+2	エルサレム
LAX	-8	ロサンゼルス	MOW	+3	モスクワ
YEA	-7	エドモントン	JED	+3	ジェッダ
DEN	-7	デンバー	THR	+3.5	テヘラン
MEX	-6	メキシコシティ	DXB	+4	ドバイ
YWG	-6	ウイニペグ	KBL	+4.5	カブール
CHI	-6	シカゴ	KHI	+5	カラチ
MIA	-5	マイアミ	DEL	+5.5	デリー
YTO	-5	トロント	DAC	+6	ダッカ
NYC	-5	ニューヨーク	RGN	+6.5	ヤンゴン
CCS	-4	カラカス	BKK	+7	バンコク
YHZ	-4	ハリファックス	HKG	+8	香港
YYT	-3.5	セントジョンズ	BJS	+8	北京
RIO	-3	リオデジャネイロ	TPE	+8	台北
RAI	-1	ブライア	SEL	+9	ソウル
LIS	+0	リスボン	TYO	+9	東京
LON	+0	ロンドン	ADL	+9.5	アテレード
MAD	+1	マドリード	GUM	+10	グアム
PAR	+1	パリ	SYD	+10	シドニー
ROM	+1	ローマ	NOU	+11	ヌーメア
BER	+1	ベルリン	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2005年12月現在作成のものです。

※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ モニターアラーム

アラームモードのとき、④ボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

ホームタイムデータ(時刻・カレンダー)の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域(都市)や時刻・カレンダー等を合わせることです。

※ホームタイムデータのセットや修正は時刻モードで行ないます。

※基本時刻とデュアルタイムの二つの時計をセットすることができます。

※パワーセービング機能のON/OFF設定も以下の操作で行ないます。

■ セットのしかた

1. セットしたい時計を選ぶ

時刻モードのとき

①ボタンを約3秒間押します

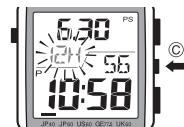


→基本時刻とデュアルタイムが入れ替わります。セットしたい時計を基本時刻にします。

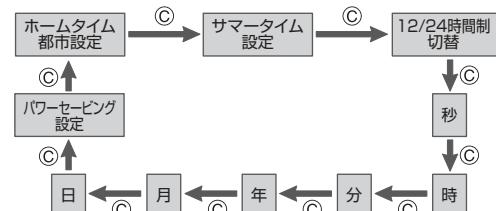
※下段に表示されている時刻が基本時刻(ホームタイム)です。

6. セット箇所を選ぶ

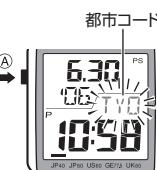
②ボタンを押します



→②ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動します。設定したい箇所を点滅させます。



b.「秒」セットのときは…
②ボタンを押すと「00秒」からスタートします。
※秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス117番」が便利です)



2. セット状態にする

Ⓐボタンを押します

→都市コードが点滅します。



3. ホームタイム都市を選ぶ

①または②ボタンを押します

→①ボタンを押すごとに都市コードが進み、②ボタンを押すごとに戻ります。本機をお使いになる地域(都市)を選びます。
*「都市コード一覧」参照。

※①・②ボタンとも、押し続けると早送りができます。



(戻る) (②)
(進む) (①)

4. 「サマータイム設定」にする

③ボタンを押します

→サマータイムの切り替えになります。



● AT (AUTO)

電波受信により、自動的にサマータイムのON/OFFが切り替わります。

● OFF

サマータイムはOFFになります(通常時間)。

● ON

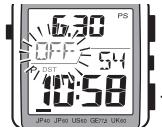
サマータイムはONになります(夏時間)。

※セット完了後、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。

5. サマータイムを設定する

③ボタンを押します

→③ボタンを押すごとにサマータイムの設定が切り替えられます。



※ホームタイム都市が受信機能対応都市(「電波の受信範囲の目安」参照)以外のときは、「OFF」⇒「ON」で表示が切り替わります。

7. 点滅箇所をセットする

①または②ボタンを押します

→①または②ボタンで点滅箇所をセットします。

a.「12/24時間制切替」のときは…

①ボタンを押すごとに12時間制表示「12H」と24時間制表示「24H」が切り替わります。



12/24時間制

b.「秒」セットのときは…

②ボタンを押すと「00秒」からスタートします。

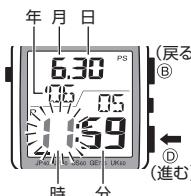
※秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス117番」が便利です)



c.「時」「分」「年」「月」「日」セットのときは…

①ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、②ボタンを押すごとに戻ります。

※①・②ボタンとも、押し続けると早送りができます。



(戻る) (②)
(進む) (①)

d.「パワーセービング設定」のときは…

①ボタンを押すごとにパワーセービング機能のON/OFFが切り替わります。

※パワーセービング機能をONにすると、セット完了後、パワーセービングマークが点灯します。



②ボタンを押して点滅箇所を移動させ、①または②ボタンを押してセットする操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき、午前/午後(P)または24時間制にご注意ください。

※「年」は'00(2000年)~'99(2099年)の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

8. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。